

平成30年度第2回 運営推進会議開催状況報告書

作成日平成30年10月23日

事業所名	デイサービスセンター笑楽房
開催日時	平成30年10月21日 午前10時0分～午前11時0分
開催場所	デイサービスセンター笑楽房 フロアー(食堂兼機能訓練室)
参加者	利用者 0名 民生委員 2名 事業所職員 2名 利用者家族 0名 老人福祉委員 0名 町会長 0名 西院地域包括支援センター 1名
議題	運営状況、作業レクリエーションへの取組み

会 議 録

運営推進会議について 運営推進会議について説明する。
事業所が地域に開かれたものになるため運営推進会議を開き、事業所への理解を深めていただき、地域での問題等さまざまな事について話し合い問題を共有する。

運営状況 平成30年4月より9月までの概要
利用者平均介護度2.3となり介護度が少し高くなり、ケア負担が上昇しつつある。介護事故なく、救急車を呼ぶこともなし。
この夏は猛暑により自宅で体調を崩した利用者がおられ入院となる。また台風21号の上陸により開設以来はじめて休業することになった。今後も災害に対し、暴風警報発令で営業中止。豪雨に対しては避難準備が発令されたら、営業中止し、利用者の帰宅および避難を始める。

作業レクリエーションへの取組み

デイサービスで楽しく活気をもって過ごすため当デイサービスでの機能訓練について話す。

機能訓練は大きく3つに分けて考え、取り組んでいる。

1. 生活リハビリ

日常生活（食・動・着脱・排泄など）を自分でできることは自分でしていただく。残存能力を活かして、取り組んでいる。ただ必ず見守りがある。

2. 身体を動かす運動

午後の集団レクリエーションでの取り組み。

昼食後、屋外でのリハビリ実施や室内での体操、ボールや器具を使つての運動。

3. 机上での作業レクリエーション（作業リハビリ）

ご利用者本人の興味を持てる作業であったり、こちらの評価に基づいてお任せする作業であったりする。

3つの日頃の機能訓練の評価は各利用者様の個別援助計画に反映され、カルテに記入し、1ヶ月のモニタリングに反映されます。情報は全スタッフに共有され、次の機能訓練計画に活かされます。

今回は3つ目の机上での作業レクリエーションについて当デイサービスでよくしていただく3つを説明。

ア、彩絵・・・好んで選んだ図案に彩色して絵を仕上げる

イ、脳トレーニング・・・日頃の各々の評価に基づき、こちらから提示する
幾種類から選択

ウ、集団で仕上げる作品への参加。

事例を使い作業レクリエーションにおける利用者様の時の経過による状態変化を紹介する。

参加者から質問、

空席情報について・・・（回答）現在金曜日以外空席あり。毎月居宅へ空席情報を送付している。

参加者から感想

当施設が整然としており、又手厚いケアをしているとの感想をいただく。近年のデイサービスは、施設で行っていることと、自宅での実際の生活が違いすぎていると感じる。

次回運営推進会議の開催

平成31年4月開催予定

以上